



活動テーマ「宇都宮市鬼怒川河川敷の生物多様性保全活動」

・自生地で激減した、絶滅危惧種カワラノギク・ミヤコグサ・オキナグサの三種を増殖することで、上小倉地区鬼怒川河川敷生物多様性を確保しながら保全活動を推進する。

活動状況 I

＜保全区内活動＞宇都宮市上小倉地区鬼怒川河川敷

- 1 カワラノギクの直播き繁殖と生育調査  
組織培養法による大量増殖順化苗の定植・自生地再生。
- 2 ミヤコグサの実生繁殖苗の定植・自生地再生と生育調査  
組織培養法による大量増殖順化苗の定植・自生地再生。
- 3 オキナグサの組織培養法による大量増殖・順化苗の定植と自生地再生。

1)カワラノギク直播繁殖と生育調査記録 保全区内 58%達成

◎発芽率73%



◎生長率58%達成



◎直播き4月21日発芽状況      7月21日 生育調査

※結論・・・確認できたこと

- ・播種法は一ヶ所に10粒以上の種まきが、発芽率を高めた。
- ・発芽した苗の側に置き石をする事で、生長率を高めた。

活動テーマ「鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動」

活動状況Ⅱ

2)ミヤコグサ実生繁殖苗の定植・自生地再生と生育調査記録

※保全区内達成度 40%達成



◎ミヤコグサ実生繁殖苗の定植 4月 21日



◎ミヤコグサ実生繁殖苗の生育調査・除草 7月21日

※結論・・・確認できたこと

- ・保全区定植後の活着率が55%で生存率は40%
- ・育苗条件と定植後の環境条件に問題がある事で、生存率を低下させていた。



活動テーマ「鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動」

活動状況Ⅲ

培養技術  
40%確立

3)オキナグサ組織培養による大量増殖の記録



◎葉片培養カルス形成  
培養90日



◎多芽体再分化 培養150日



◎育苗開始 培養250日目



◎順化 120日目



◎順化苗定植 6月13日



◎生育調査・除草 7月29日

- ※結論・・・確認できたこと 培養大量増殖技術40%確立
- ・多芽体からの育苗には、100日前後要するので短縮したい。
  - ・培養苗からの発根再分化培地条件を検討する。